



「創生」 「課題研究」 はお宝だらけ！



●入試・就活に生きる！探究(「ふるさと創生学」「課題研究」)

皆さん、探究についてどんなイメージを持っていますか。「面倒だなあ」「難しいなあ」、正直マイナスなイメージかもしれません。しかし、**探究は進路実現への無限の可能性**を秘めています。

利根商のあるみなかみ町では、人口減少による慢性的な人手不足や空き家増加等の諸問題を抱える一方、その解決のために多くの方々が尽力しており、**全国的に注目**されています。利根商では、それらの方々と積極的に連携して地域探究を行っています。普通科では1・2年次に「ふるさと創生学」という授業、商業系学科では2・3年次に「課題研究」という授業が行われており、**生徒が主体的に、地域課題を解決するために探究**を行っています。その中で先輩方は、イベントの考案や商品開発等の素晴らしい実績を残してきました。

そして、それらの**実績を志望理由書に書いたり、面接で話したり**することで、**志望校合格や就職の内定**を勝ち取ってきました。普段の勉強や部活動、学校行事等もちろん進路に生かしますが、**探究は同じくらい進路に生かせる宝物**なのです。



●社会人になっても生きる！探究(「ふるさと創生学」「課題研究」)

探究は、入試・就活等で役立つだけではありません。

探究の基本的な進め方は、「(1)課題の設定→(2)情報の収集→(3)整理・分析→(4)まとめ・表現」となっています。これは、大学における研究や、ビジネスにおける企業活動・管理等で、主要な手法である「**PDCAサイクル**」に通じます。「PDCAサイクル」とは、「①Plan(計画)→②Do(実行)→③Check(確認)→④Act(改善)の4段階を繰り返して、目標達成につなげる方法」と定義づけられています。「探究」の(1)~(4)と「PDCAサイクル」の①~④は、ほとんど対応しています。つまり、高校でやっている**探究の手法は、大学・企業等でそのまま応用できる宝物**であるということです。

●まとめ

以上のように、「ふるさと創生学」「課題研究」は、皆さんの進路に大いに役立つ宝物です。**何となく取り組むのは本当にもったいない！**やるからには、進路や今後のキャリアにつながるよう、真剣に取り組んでみてはいかがでしょうか？



●春季休業中の課題(進路指導部より)

新3年1組&2年1組

：スタディサポート活用book

新3年2~5組&2年2~4組：OneWeekトライアル

※4月8日(水)に新担任に提出